

- 現在、琉球泡盛の原料米は、ほぼ全量タイ産米が使われているが、輸出の拡大に向けて、沖縄県産長粒種など原料米にこだわった個性豊かなブランド銘柄作りが重要である。
- このため、沖縄県産長粒種等を利用した琉球泡盛生産に向けて、現在、関係機関を挙げて、沖縄県における原料米の試験栽培、試験醸造を行っているところであり、今後、原料米の栽培適性や県産米使用琉球泡盛の官能評価を含めた醸造適性を確認。

1 国際農林水産業研究センター(JIRCAS)と高嶺酒造所の共同研究

平成29年からJIRCASと高嶺酒造所(沖縄県石垣市)が共同研究を開始。

平成32年までの4カ年に、JIRCASが毎年2品種のインディカ米品種を試験栽培し、高嶺酒造に提供。
高嶺酒造所は試験醸造を実施。醸造後、半年、一年間、三年間経過した段階で評価。

本年は、YTH183(JIRCAS育成)、BT7(ベトナムの香り米)で試験。

2 沖縄の酒類製造業自立経営促進事業を活用した試験栽培・醸造

Blueship沖縄(関係団体: 忠孝酒造、瑞泉酒造、久米島の久米仙、沖縄県)の取組の中で、沖縄県農業研究センター石垣支所において、夢十色(農研機構育成)を栽培し、忠孝酒造が試験醸造を実施。
沖縄県の栽培試験に関し、農業・食品産業技術総合研究機構及びJIRCASが指導、助言を実施。

※ こうした品種選定を先行させつつ、去る7月30日にも那覇市内で検討会を開催し、沖縄県庁等と現地生産に向けた調整を進めているところ。

品種別の試験栽培、試験醸造計画

	収量等 ※収量はすべて 10a 当たり	2017 年	2018 年	2019 年	2020 年
夢十色 (農研機構育成)	1 期作 : 450kg 2 期作 : 262kg (2007 年、2009 年、県農研)		・沖縄県農業研究センタ ー石垣支所が試験栽培 ・忠孝酒造が試験醸造		
YTH183 (JIRCAS-IRRI 共同育成)	1 期作 : 630kg (2014 年、JIRCAS)	・JIRCAS が試験栽培し、 高嶺酒造所に 200kg 提供 ・高嶺酒造所が試験醸造	・JIRCAS が試験栽培(1 期 作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造 ・2017 年産を沖縄国税事 務所にて官能評価(6ヶ月)	・JIRCAS が試験栽培(1 期 作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造 ・2017 年産を沖縄国税事 務所にて官能評価(1 年)	・JIRCAS が試験栽培(1 期 作・2 期作) ・高嶺酒造所が試験醸造
IR64 (IRRI 育成)	1 期作 : 525kg (2014 年、JIRCAS)	・JIRCAS が試験栽培し、 高嶺酒造所に 200kg 提供 ・高嶺酒造所が試験醸造	・JIRCAS が試験栽培(2 期 作) ・2017 年産を沖縄国税事 務所にて官能評価(6ヶ月)	・2017 年産を沖縄国税事 務所にて官能評価(1 年)	
BT7 (ベトナムの香り米)	JIRCAS が 2018 年 2 期作 で収量試験を実施		・JIRCAS が試験栽培(2 期 作) ・高嶺酒造所が試験醸造	・2018 年産を沖縄国税事 務所にて官能評価(6ヶ月)	

○今後、JIRCAS-高嶺酒造所の共同研究で泡盛醸造試験を計画している品種候補

国際稲研究所(IRRI、フィリピン)育成系統、バングラデシュ稲研究所(BRRI)育成系統、ベトナム品種、インドネシア品種、バスマチ系香り米品種、マレーシア育成品種